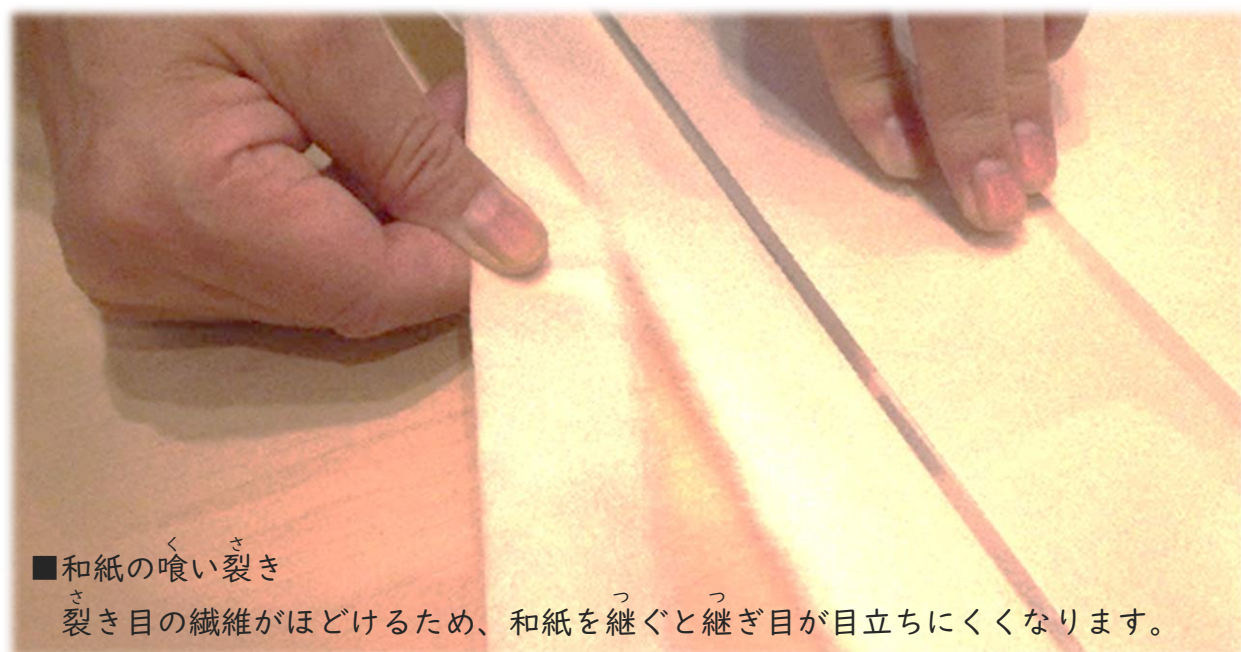


実技講座 和紙にふれる

絵画や書跡^{しよせき}は、裏打紙^{うらうちがみ}に支えられることで強度が高まります。裏打紙^{うらうちがみ}は経年による糊^{のり}の接着力の低下に伴って徐々に剥^はがれるため、装潢^{そうこう}修理技術を用いて裏打紙^{うらうちがみ}を交換するなどの周期的な保存修理が必要です。

本保存科学講座では2日間かけて、体験、実演、講義をとおして装潢^{そうこう}修理技術、修復材料の特性、紙本^{しほん}作品のブックマツト装^{そう}の仕立て方を学びます。



■和紙の喰い裂き

裂き目の繊維がほどけるため、和紙を継ぐと継ぎ目が目立ちにくくなります。

● 日 時 12月7日(土) 10時～16時

8日(日) 10時～16時30分

2日連続！

両日とも9時50分までに
実習室へお入りください。

● 講師 鈴木 晴彦さん（文化財修理技術者）・杉崎佐保恵（当館学芸員）

● 会場 福島県立博物館 実習室・視聴覚室 汚れてもよい服装でお越し下さい。

● 定員 15名（先着順・事前にお申し込み下さい。） 小学生は保護者同伴でお申込み下さい。

● 材料費 2,300円（12月7日に講座開始の直前に集金します。）

● お願い 昼食は館内ティールームか近隣の飲食店等をご利用下さい。

館内に持ち込んでの食事はできません。

〔お申し込み・お問い合わせ〕 福島県立博物館 受付カウンター または 電話 0242-28-6000

〒965-0807 会津若松市城東町1番25号

保存科学講座 実技講座「和紙にふれる」

■ 学ぶこと

12月7日(土) 10時～16時

講義「和紙を学ぶ」

体験「和紙を継ぐ・裏打紙を剥す」

実演「糊を炊き・糊を作る」

(お昼休み 60 分)

体験「和紙の裁断と本紙裏打ち」

体験「ブックマット作成」

体験「『ちぎり絵』下絵制作」

12月8日(日) 10時～16時30

体験「喰い裂き・継ぎの『ちぎり絵』」

(お昼休み 60 分)

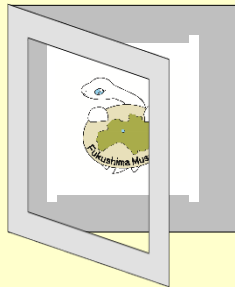
講義「欠損をうめる―漉き嵌め―」

講義「保存修理の全工程を学ぶ」

体験「和紙を拡大観察する」

体験「ブックマット装仕立て」

講義「和紙と西洋紙の保存科学」



ブックマット装が完成すると、このようになります。

大きさは、タテ 30 cm×ヨコ 30 cm×厚さ 3 mm です。

お持ち帰り用に手提げ紙袋をお渡しします。

■ 装 潢 とは？

○東洋絵画・書 跡 の本紙に装 丁 (装飾や道具としての構造) を付加した形態のものを装 潢 文 化財と呼びます。掛 軸、巻 子、屏 風、画 帖 などが装 潢 文化財です。

○文化財保護法に拠り、文化財の保存技術の保護を目的として、選定保存技術に装 潢 修理技術が選定され、一般社団法人 国宝修理装 潢 師連盟が保存団体に認定されています。

■ 講師 鈴木晴彦 さん (文化財修理技術者)

(一社)国宝修理装 潢 師連盟より、主任技師・絵画Ⅰ類 (外部技術者) の資格を付与されている。

武蔵野美術大学 造形学部芸術文化学科卒業。(株)半田 九 清堂、(有)東京修復工房を経て、東京国立博物館、(株)修 護に勤務して文化財修理に従事した。東京国立博物館では、国宝「檜 図 屏 風」の平成の大修理にもたずさわった。(株)修 護取締役を経て、現在はフリーランスとして文化財修理を続けている。